

くらしをまもり、未来をつくる

2023 春季生活闘争ニュース

2023. 3. 10 —第 5 号— 連合北海道 春季生活闘争本部

春の闘い、総力を挙げて挑む

—3.10 全道総決起集会を開催—

連合北海道（会長：杉山 元）は3月10日（金）、札幌市の共済ホールで「2023 春季生活闘争・統一地方選挙勝利！！3.10 全道総決起集会」を開催し、大手先行組合の回答が集中するヤマ場を前に賃上げなどの処遇改善と、4月の統一地方選挙に挑戦する連合北海道推薦候補予定者の必勝に向けて意思統一を図った。新型コロナウイルス感染症の影響により、組合員が集まる形式での開催は4年ぶりとなる。

杉山会長は主催者挨拶で「2023 春闘は、大手だけではなく全体の底上げが必要。連合本部の集計では25年ぶりに要求率が4%を超え4.49%であった。ベースアップ分の要求率を見ると、中小組合は大手を上回っている」と中小組合が積極的に要求を行ったと紹介し、「北海道の中小・地場組合もこの要求に迫いつき、働きに見合った賃金水準への引き上げを勝ち取ろう。」と述べた。

また、統一地方選挙闘争で連合北海道が推薦した池田まきさんと秋元克広市長についても触れ、「道民・札幌市民が未来に安心・安全、そして夢と希望が持てる社会を創ってくれると確信している。その実現のために、我々も共に汗をかこう。」と集会参加者に呼び掛けた。

2023 春季生活闘争の方針を提起した藤盛事務局長は、「産業によって違いはあるものの企業は、物価高への対応が社会的に求められていることや、『人への投資』が重要であることに理解を示しており、経営側の満額回答により、ヤマ場を迎える前に早期に妥結した構成組織もある。未来づくり春闘でデフレマインドを断ち切りステージを変える時だ。連合北海道は、先頭に立って闘いを進めていく。」と翌週からのヤマ場に向けて、決意を述べた。

池田まき知事候補予定者、3期目に挑戦する秋元克広札幌市長、全道各地の北海道議会議員候補予定者、札幌市議会議員候補予定者もそれぞれ決意を述べ、参加者から激励の拍手を受けた。

2023 春季生活闘争は、3月14日から最大のヤマ場を迎える。



主催者挨拶をする杉山会長

